

こ う ほ く り よ く は っ け ん つ う し ん

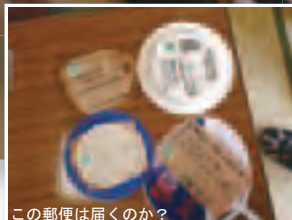
港北力発見★通信

©横浜市港北区ミズキー

港北区の元気のもと発見!

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町26-1 Tel.045-540-2247 Fax.045-540-2245
地域力発見プロジェクト事務局：港北区地域振興課地域力推進担当 福祉保健課事業企画担当
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/sinkou/kouhokuryoku/>

よってこサイエンスカフェ事業 ローカライズドサイエンス



この郵便は届くのか？



この郵便にはGPSが入っています！

科学は身近なもの

「今までと違う視点から科学を知って理解し、まちづくりについて考えることができる様にしていきたいと思っています。」と代表の増井さんは話します。会場は広い一軒家で、様々な体験を通して、子どもを中心とした異世代交流、地域のつながりづくりを目指しています。小学校では施設案内が配布されたり、町内会ではイベント情報が回覧されるなど、地域と密接につながった活動をしています。

サイエンスカフェ開催

「ポストは何故赤い？」の疑問から、紙と水で色をわけの実験（ペーパークロマトグラフィ）を通して色の不思議を学んだり、GPSを使って郵便の仕組みを体験したりしました。9月には下田の松の川緑道について、地域の不思議を学びます。

えんがわの家よってこしもだ

地元の皆さんの特技やお仕事を活かしていただく場となっています。場や機会に恵まれず特技や力を披露できなかった方が集まってくれるようになります。

「私はどうかな・・・」と思った方、ぜひ遊びに来てください。

・手作りパン、手作りの小物・アクセサリーなどの物販
・歌やピアノのコンサートなどのイベント開催
やりたいことや特技をカタチにしてみませんか。

■利用案内

毎週水・木・金10時から17時まで開館
利用料(1日)大人会員200円/ビジター300円
(0歳から18歳の子どもは無料)

■今後のイベント紹介

10月17日(金)17:30～ ジャズナイト
地域のママがジャズボーカリストとして出演!
本格的なジャズを聴きにいきませんか?

【問合せ】

えんがわの家 よってこ しもだ
電話:090-9846-3508(担当:増井)(開館時のみ)
住所:港北区下田町6-8-28
Eメール:engawanoie.shimoda@gmail.com

NPO法人 フーズマイルぐりぐら

食の学びで夢を叶える力を育む…!

■食楽(しょくがく)スクール

菊名駅近くの一室で子どもたちの楽しそうな声が聞こえます。ここは食育をテーマとした小学生の放課後施設です。小学1年生から6年生の児童が、放課後に食を通じた学びの時間を過ごしながら保護者の迎えを待っています。例えばクッキングするときでも、材料や味で創造力を養い、予算内の買い物でお金の大切さを学び、盛り付けや後片付けでおもてなしの心を身につける…いろいろな体験を通して問題解決能力を学ぶことができるよう工夫しています。



■今後の活動

<食育サロン>

日時:10月29日(水)12:00~13:00(予定)

食を通して楽しく学び食体験によって親子のコミュニケーションを深め笑顔の子育てが実現できるようなサロンを目指しています。4~6歳の幼児の親子が対象です。

■団体からのお知らせ

栄養士や保育士として活躍していたけれど出産を機に辞めてしまった…という方募集しています。一緒に食育を広げていきませんか。

【問合せ】

NPO法人フーズマイルぐりぐら

電話:070-6630-4574(担当:和賀)

住所:港北区篠原北1-2-19

H P: <http://www.npofoodsmile.jp>

日吉台地下壕保存の会

日吉に地下壕!?

慶應義塾日吉キャンパスの地下に、海軍連合艦隊司令部等の地下壕群があることを知っていますか?これらを戦争遺跡として保存の活動を続けているのが「日吉台地下壕保存の会」です。会の結成は平成元年。慶應義塾職員と地域住民の有志で立ち上げました。

■ガイド養成講座開催

多くの人を知ってもらうことを目的に、ガイド養成講座を開催。見学ガイドの補佐をしたり講演会を聞いたりすることで、ガイドのレベルアップを図っています。

■活動紹介

「地下壕見学者の案内」や「講演会や展示会の開催」「会報、資料集等の発行」の他に「戦争遺跡保存全国ネットワークへの参画」などです。

■年間2,000人を超える見学者

地下壕は一般公開されていません。

毎月1回の定期見学会をはじめ、年間に50回以上の予約を受けて行う見学会でご覧いただくことができます。壕内の整備も進み、現在は総合学習等で訪れる小・中・高校生も増えています。



地下壕へ入る前のガイド説明



いよいよ中へ、奥が入口の鉄扉



厚さ40cmのコンクリートがむき出しになっている内部

【問合せ】

日吉台地下壕保存の会

見学会窓口電話・FAX:045-562-0443

(担当:喜田「ぎだ」)

H P: <http://hiyoshidai-chikagou.net/>

その他の 団体の 活動予定

■パパサンゴ

【子育てパパの井戸端カフェ パパトーク】

日時:11月16日(日)10時~12時

会場:樽町地域ケアプラザ

参加者:先着20名(参加費無料)

パパたちの日頃の思いや子育て情報をパパ同士で語り合いましょ!うちの子自慢や夫婦のお悩み相談なんでもOKです。
連絡先:045-532-2501(担当:星野)

■港北ものしり協議会

【港北ものしり博士検定】

日時:10月18日(土)9:30~14:30

場所:新横浜駅前公園

ふるさと港北ふれあいまつりの会場で、親子対象に区内の地理・歴史・文化等の知識についてクイズ形式で検定をおこなう「港北ものしり博士検定」を実施します。遊びに来てね。
連絡先:小出幸治 045-401-2308

NPO法人 街カフェ大倉山ミエル

大倉山キッズ夏休み自由研究開催!

子ども達が、夏休みに入った8月3日。区役所裏の、まめどスペース結の庭も使って、大倉山キッズ夏休み自由研究『水の浄化実験をやってみよう』を開催しました。地域で活動している団体「菊名こども学習会」のボランティアの方々が用意してくれたスライドを見ながら、『ph』『COD』といった難しい言葉にも真剣そのもの。集中して話を聞き、ペットボトルで浄化装置を作ったり、試薬で調べたり...といった理科実験をじっくり体験できました。

■今後の活動

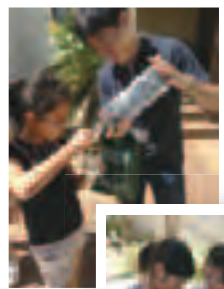
<街のアートスタジオ>

詳細未定

日時:11月30日(日)
10:00~

集合場所:まめどスペース結
高橋先生と野遊び

大倉山キッズは、街の面白い大人たちに会いに行こうという目的で、これからもいろいろな場所に出発します!



【問合せ】

街カフェ大倉山ミエル

電話:045-717-6778 (担当:鈴木)

HP:<http://cafemiel.jimbo.com/>

菊名こども学習会

HP:<http://kikuna-study.com/>

大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会

まめどまめ作戦開始

■枝豆収穫できたよ

「まめどまめ作戦」では大豆戸小学校3年生約90名の生徒の皆さんが、「豆」を育てる取組を行いました。5月上旬に種を蒔いた枝豆の苗を、6月10日に地植えしました。暑い季節の水やりや草むしりのおかげで、立派な枝豆にみんな大喜び。7月17日、枝豆を収穫しました。その他、菊名や太尾の公園でも学童クラブの子どもたちが枝豆を育て収穫しました。



■活動紹介

子ども達が地域の一員として、生活の中から環境意識を高めるような活動をしています。8月には菊名池から大豆戸町に流れていた菊名川(大豆戸菊名用水路)を再現しようと打ち水を行っています。地球温暖化対策とともに、子どもたちに環境問題を学ぶきっかけを作っています。また、地域の歴史を知る「ふるさと発見ツアー」などを企画し地域まちづくり活動に取り組んでいます。

■今後の活動

<放射線量調査隊>

日程:11月11日(火)予定

<エコを学ぶ勉強会> ワークショップ

日程:2月15日(日)予定

【問合せ】

大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会

電話:045-401-6063 (担当:小林)

メールアドレス: ws.period@kikunagawa.net

■Mirumiru

【クリスマスリース講座】

日時:11月14日(金)・28日(金)

10:30~12:00、12:30~14:00

会場:新吉田東4-8-32(鈴木宅)

参加者:予約制 定員6名

【親子サロン開催】

日時:毎週月曜日と木曜日(第二木曜日、祭日は休み)

10:30~13:30

会場:新吉田東4-8-32(鈴木宅)

参加費:100円/1人 予約優先

地域が主役

ひつとプラン 港北



「ひつとプラン港北」(港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画)は、「ひろがる」「つながる」「とどく」をキーワードに、地域と行政、事業所等が協力して「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指す計画です。この通信では地域での取組の一部を紹介していきます。

『とも^友・とも^共篠原』で担い手と交流が「ひろがる」(篠原地区)

篠原地域ケアプラザを会場に行われる障がい児余暇支援事業『とも・とも篠原』では、学生から仕事を退職された方まで、大勢のボランティアさんが活躍中。一緒に工作やゲームを楽しむ方、じっとお子さんの話に耳を傾ける方、特技を披露される方・様々な関わり方で毎回場を盛り上げてくれています。参加しているお子さんもボランティアさんも篠原近隣にお住まいの方なので、道ですれ違って声をかけあうこともあります。このような活動を通じて住民同士のおつきあいの輪も広がっているようです。



ボランティアの皆さん

住民向け講演会で理解が「ひろがる」(大曽根地区)

「いつまでも住んでいたい町」をめざす大曽根地区では、高齢者や障がい者への理解を深める取り組みとして、地域住民を対象にした講演会を毎年開催しています。2月に行った講演のタイトルは「～認知症の理解と予防～笑顔で広がる快いコミュニケーション」。あいにくの雪でしたが、大勢の方が楽しく参加しました。次回11月19日には続編の開催を企画。地道な活動ですが、住民同士が互いに助け合い、思いやりをもっておつきあいができるまちになってほしいと思います。



2月の講演会の様子

『高齢者110番』で安心と連帯感が「ひろがる」(菊名地区)

菊名北町町内会と大倉山喜久和会を含む「菊名北町地区」では、地域の高齢者が気軽に相談できる場所を表す『高齢者110番』のステッカーを作成しました。現在、町内で活動に賛同する約70世帯にステッカーが掲示されており、お話を聞いたり、専門機関への橋渡しを行ったりしています。『高齢者110番』は、高齢者の“駆け込み寺”となるだけでなく、地域の交流を進め、また、地域全体で高齢者を見守る住民の意識づくりにつながっています。今後賛同者がさらに増え、この活動を継続していくことで、安心して暮らせる町づくりを目指し、地域の絆を強めていきたいと思ひます。



▲家の前の「高齢者110番」ステッカー



『高齢者110番』のお宅に配られているマニュアル

「ひつとプラン港北」に関する問合せ先

港北区福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当

☎ 540-2360

FAX 540-2368

✉ ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/fukuho/fukuhoikeikaku.html>